

中学部だより

令和8年1月 No.9



むすびスタディ

井手やまぶき支援学校の「学部混合むすびスタディ」は、小学部から高等部までの12年間をつなぎ、学部の枠を越えて学ぶことを目的とした学習です。小学部6年生と中学部2年生が合同で生活単元学習に取り組み、「おむすびカフェ」をテーマにメニューづくり、飾り付け、接客、調理などの役割を体験しながら学習を進めました。また、中学部3年生と高等部2年生は農園芸「Oide 農園!」をテーマに種まきや水やりなどを通して、協同して進める大切さを学び、連続性を高め、発達段階に応じた経験を積み重ねることで、社会参加に必要な力を育てています。

清掃活動

1年生は総合的な学習の時間にわくわくパーク(体育館裏砂場)の清掃に取り組みました。日頃使用している場所を、常にキレイにしておく意識が普段の生活にもつながってきます。

また、3学期は、校内から寄せられる清掃依頼に応える活動へと学びを発展させます。自分たちの力が誰かの役に立つことを意識し、役割を果たす喜びや、貢献することへの自信を積み重ねられるよう取り組んでいます。



小中むすび

小学部6年生と中学部2年生による「むすびスタディ」では、学部の枠をこえて協働しながら生活単元学習に取り組んでいます。今回は「おむすびカフェ」をテーマに共同で役割を分担し、計画・準備・実践までを一緒に進めることで、学年の垣根を超えて仲間と協力する力を育てています。飾り付けや接客、調理など様々な体験を通して、達成感や社会性を高める学びを深めています。



中高むすび

中学部3年生と高等部2年生は、今年度のむすびスタディで「農園芸」に一緒に取り組みました。種まき、水やり、培地洗い、収穫などの作業を共に行う中で、3年生は高等部生の働き方を身近に感じ、道具の扱い方や作業の進め方を学びながら自信を深めていきました。また、高等部生から声をかけてもらえたり、作業を助けてもらったりする経験は、安心して挑戦する力につながっていました。学年をこえた協働を通して、自然と関わりながら「学ぶ・支える・つながる」力を育む機会となりました。



中学部では、地域とつながりながら多様な表現活動にふれる「こまちサロン」を毎月開催しています。地域の方をお招きし、音楽演奏や読み聞かせ、日本舞踊、手話を取り入れた活動など、心が触れ合う時間とともに過ごします。スマイルサークル様をお招きしたときは、大正琴で「井手町の歌」を演奏してもらったり、手品を披露してもらったりしました。また、おはなしたまご様は絵本の読み聞かせをしていただき、静かに物語に耳を傾ける姿が見られ、温かい交流が生まれました。

中学部の「こまちサロン」は、地域の力をお借りしながら、生徒が豊かな感性やコミュニケーション力を育む、機会になっています。